～このような症状に心当たりはありませんか？～

ギャンブル依存症 チェックリスト

□興奮を得るために、ギャンブルにつぎ込むお金の額が増える。

□ギャンブルにしばらく行かなかったり、行くのをやめたりすると、イライラしたり、落ち着かなくなる。

□ギャンブルに行く回数を減らしたり、行くのをやめようと何度も努力するが、うまくいかない。

□次にギャンブルをするときの計画を立てたり、ギャンブルをするためのお金をどう得るかなどギャンブルのことばかり考えている。

□無気力、罪悪感、不安、抑うつなど気分が優れないときに、ギャンブルをすることが多い。

□ギャンブルで負けると、別の日にその負けを取り戻そうとまたギャンブルをする。(失った金を“深追い”する。)

□ギャンブルをするために、またギャンブルによって生じた問題を隠すために嘘をつく。

□ギャンブルのために、大切な人間関係、仕事、教育、または職業上の機会を失いそうになる、または失ったことがある。

□ギャンブルによって引き起こされた絶望的な経済状況を免れるために、借金をする。

過去 12 か月間に 4 つ以上の項目にあてはまると
「ギャンブル依存症」の治療が必要であると言われています。

アメリカ精神医学会「DSM－5」による
ギャンブル障害の診断基準を参考に一部改変

当院について

施設名称　医療法人見松会　あきやま病院

住　　所　〒854-0007
長崎県諫早市目代町 737 番地 1

科　　目　精神科・心療内科・内科

～お問合せ・ご予約は～

TEL　0957-22-2370

FAX　0957-23-8031

受 付 時 間 9:00～17:00

https://akiyamahp.or.jp/

当院へのアクセス

諫早駅より車で 20 分



大村方面から



諫早方面から

～診療時間のご案内～

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午　前	○	○	○	○	○	○	×
午　後	○	○	○	○	○	×	×

午前 9:00～12:30/午後 14:00～17:00

あきやま病院

ギャンブルの問題でお困りの方へ

https://akiyamahp.or.jp/

やめたくても
やめられない・・・

それは、
「ギャンブル依存症」という
病気かもしれません。

ギャンブル依存症ってどんな病気？



ギャンブル依存症になると、生活の中心がギャンブルとなり、「パチンコをしないとイライラする」「ギャンブル以外に興味を持てなくなる」「眠れない」等の症状が見られるようになります。

依存症とは、自分の意志や精神力ではその行動をコントロール出来なくなる **「脳の病気」**で、治療することで**「回復」が可能**です。依存症は脳の病気ですので、自分の力だけでやめることはできません。

回復するためには、専門医療機関で治療やリハビリプログラムを受けたり、自助グループ（同じ問題を抱える者同士の集まり）につながることが大切です。

どんな治療をするの？

専門のプログラムを通して、
自身のギャンブルの問題を整理し、

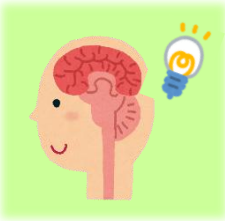
「ギャンブルに頼らない生活」

の実現を目指します。

自助グループへの参加

同じ問題を抱える仲間が集まり互いに支え合いながら、回復を目指します。





疾病教育プログラム

心理教育、認知行動療法、認知リハビリテーション等を通して、ギャンブル依存症の正しい知識を身につけ、再発を予防します。

代替行動プログラム

これまでギャンブルに費やしていた時間を「楽しい」「心地良い」と思える他の活動に置き換え、健康的な生活を目指します。









あきやま病院は、「ギャンブル等依存症」の
長崎県依存症専門医療機関です

外来プログラム
A-FLAG カフェ



開催日時 ： 奇数週の月曜日 14:00～
場所 ： あきやま病院 喫茶 Ami

ギャンブル依存症、アルコール依存症、薬物依存症、どなたでも参加可能です。

家族教室
「ルピナスの会」

依存症の問題に悩んでおられるご家族のためのつどいの会です。依存症という病気やその対処法、効果的なコミュニケーションの取り方などについてトレーニングする場です。

開催日時 ： 第2・第4水曜日 13:30～
場所 ： あきやま病院 図書室
（オンラインでの参加も可能です）

当院に入院中・通院中の患者様のご家族はもちろん、まだ依存症の治療を受けられていない方のご家族もご参加いただけます。

※事前にお電話で参加申込みをお願い致します。

家族相談

「本人が病院に行きたがらない・・・」
「まずは、家族だけで相談したい・・・」
ご家族だけでの相談にも、対応いたします。
まずは、ご連絡ください。

TEL 0957−22−2370